

特集

ウイルス性脳炎・脳症 2022

企画 本誌編集委員会

中枢神経系のウイルス感染症は脳神経内科医にとって永遠の challenge である。COVID-19 の話題は本誌 7 月号に譲るとして、本号では本年手引きが改訂された急性弛緩性麻痺、単純ヘルペス脳炎後に続発する自己免疫性脳炎、難治例や重症例が多い水痘帯状疱疹ウイルスによる中枢神経障害、多発性硬化症治療薬により惹起されることでも注目を集めている進行性多巣性白質脳症、西日本を中心に発生が報告されている重症熱性血小板減少症候群を取り上げた。特徴的な臨床症候や画像所見を含め、現時点での知識を整理する。